

平成 25 年度

第 1 回宝達志水町文化財保護審議会

平成 25 年 7 月 4 日 午後 2 時開会

さくらドーム 第 2 会議室

秋田会長 あいさつ

勝二教育長あいさつ

審議・報告

平成 25 年度文化財保護事業について

国指定文化財 「喜多家」・「散田金谷古墳」の保護・管理・公開。

県指定文化財 「岡部家」・「金谷古墳石棺」・「妙法輪寺ナンテン」・「善正寺キクザクラ」・「末森城跡」・「御館館跡」の保護・管理・公開。

町指定文化財の保護・管理・公開については、所有者が実施している。

文化財保護事務において、保管古文書の資料照会への閲覧対応。開発に伴う埋蔵文化財に対する照会については、文書で回答を実施。

発掘調査の予定は現時点ではありません。

能登文化財保護連絡協議会 穴水町大会について

10 月 9 日 水曜日

能登文化財保護連絡協議会 自然保護部会現地調査について

9 月 5 日 木曜日

いずれも、七尾事務局から参加者確認がありますので、その時に出欠を確認します。合わせて、今年度の執筆原稿の提出を秋田会長・出倉副会長よりいただいておりますが、七尾事務局から第 1 回校正は届いておりません。連絡がありしだいお願いします。

会長 質疑ありませんか、なければ事務局

別添資料についての説明。

○ 先の審議会で、「文化財保護審議会の活動、文化財の分類と種類などについて、取りまとめたもの」を、との事で、文化庁の冊子等より抜粋させていた

だき、添付いたしました。

- 御館館跡・末森城跡の現況報告「平成 24 年 3 月に文化庁記念物課から現地指導をいただいた」後、県文化財課と打ち合わせを継続してきましたが、25 年 5 月に、文化庁からの戸別の宿題と回答を「まとめ」る用意について連絡をいただいた。現時点での取りまとめに必要なもの、不足するものがあればご指示ください。

村上委員 アラマチ区域は、城郭に含まれないとの結論となったか。

では、周辺のは場整備前の御館区域の等高線図【コンタ】データを探るか、作成する事。航空写真から作成は可能だが高価。御館周辺部の谷あいのレベル・高低差がはっきりすれば、主郭の説明に陸道だけでない、当時の水運との関連が証明できる可能性が高い。

「喜多家」文献に地域の塩害の記載があり、海からの水運があった事が伺われる。

文書資料として「不破文書」の資料が使用可能。

地域の伝承・縁起の出所を抑えておくこと。地域に「いいつたえ」がいつごろ発生したのか、おそらく明治以降と考えられるが、きちんと示してあげないといけない。

事務局 対応します。

大窪委員 岡部家の囲炉裏にくべる、マキの確保の予定は。

事務局 周囲で伐採したものがあほか、今後は煙だしを徐々に週一回など減らしていく。県文化財課とも話しながら進める。

委員 来る人には囲炉裏に火があつたほうか・・

事務局 現在、火の管理は午前中のみ実施しています。

出倉副会長 善正寺のキクザクラが傷んできている。県の千木さんからの指摘で、一部伐採の指導あり。森林組合にでも依頼できないか。

事務局 県指定文化財の対応を文化財課と協議します。

秋田会長 外来種の問題については、オウキンケイギクの対応はどうしているのか、メリケンカルカヤと合わせ対応について指示が出ているのか。

事務局 県文化財パトロール員より駆除の指示があつたが、方法や薬剤についてなど特に指導は無かつた。大きく広がつてきており全域での対応は難しく、屋外展示では「散田金谷」について注視している。

村上委員 末森城本丸の城門礎石について、盗難にあいかけて、途中で止まっているので、元の位置に戻してほしい。

大型機械が入らないので、工事費用は掛かると思うが、解っているものがあるうちに戻しておかないと、いずれわからなくなる。

事務局 業者に見積もりをいただき、事業として対応を考えます。

現地研修に先立ち、一旦審議会を終了

出倉副会長 あいさつ

現地研修会 宝達山ブナ林【アサギマダラ・小エゾゼミ】と周辺樹木。

宝達山旧火口部分、

母呉キャンプ場跡地

※イノシシによる被害【ハッチョウトンボ・モウセンゴケ類の産卵地・生息域の破壊】

沢川集落

降雨中断一下山解散